

| | | | |
|---------|------------|-----|------------|
| 整理番号 | イレーサーT 4kg | 作成日 | 2006年5月10日 |
| 3314-04 | 横浜油脂工業株式会社 | 改定日 | 2016年6月9日 |

Ver. 11.08

安全データシート (SDS)

1. 製品及び会社情報

| | |
|--------------|---------------------------------|
| 製品名 | イレーサーT 4kg |
| 製品コード | 3314 |
| 会社名 | 横浜油脂工業株式会社 |
| 住所 | 横浜市西区南浅間町 1-1 |
| 担当部門 | 技術開発部 |
| 担当者 | 溝口 康介 |
| 電話番号 | 045-311-4701 |
| FAX番号 | 0463-89-1330 |
| 緊急連絡の電話番号 | 045-311-4704 |
| 奨励用途及び使用上の制限 | 住居・病院・工場等で発生する悪臭（カビ・タバコ・ゴミ等）の消臭 |
| 作成日 | 2006年5月10日 |
| 改正日 | 2016年6月9日 |
| 整理番号 | 3314-04 |

2. 危険有害性の要約

GHS分類

| | | |
|----------------|------|----------|
| 生殖細胞変異原性 | 区分 1 | (1A及び1B) |
| 発がん性 | 区分 2 | |
| 生殖毒性 | 区分 1 | (1A及び1B) |
| 特定標的臓器毒性（単回暴露） | 区分 2 | |
| 特定標的臓器毒性（反復暴露） | 区分 2 | |

※記載のないものは区分外、分類対象外または分類出来ない

GHSラベル要素

シンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

遺伝性疾患のおそれ
 発がんのおそれの疑い
 生殖能または胎児への悪影響のおそれ
 中枢神経系、全身毒性、腎臓の障害のおそれ
 長期にわたる、または反復暴露による肝臓の障害のおそれ

| | | | |
|---------|------------|-----|------------|
| 整理番号 | イレーサーT 4kg | 作成日 | 2006年5月10日 |
| 3314-04 | 横浜油脂工業株式会社 | 改定日 | 2016年6月9日 |

Ver. 11.08

3. 組成、成分情報

化学物質 ・混合物の区別
 ・混合物

| 成分名／化学名 | 含有量 (wt%) | CAS No. | 化審法 |
|--------------------------|-----------|---------|-----|
| アビエチン酸ナトリウム | 非公開 | 非公開 | 非公開 |
| 変性アルコール | 1~5 | 非公開 | 非公開 |
| エタノール (変性アルコールに含有) | 1~5 | 非公開 | 非公開 |
| n-プロピルアルコール (変性アルコールに含有) | 0.5未満 | 非公開 | 非公開 |
| イソプロピルアルコール (変性アルコールに含有) | 0.5未満 | 非公開 | 非公開 |
| キレート剤 | 非公開 | 非公開 | 非公開 |

PRTR法報告物質

非該当 該当物質は含有しない。

毒物及び劇物取締法

非該当 該当物質は含有しない

労働安全衛生法

通知物質 : 法第57条の2、施行令18条の2別表第9 名称等を通知すべき有害物質

| 制令番号 | 物質名 | 含有量 |
|------|-----------------------|------|
| 61 | エタノール(変性アルコールに含有) | 1~5% |
| 494 | プロピルアルコール(変性アルコールに含有) | 1未満 |

有機溶剤中毒予防規則

非該当 該当物質は含有するが、5%以下。

4. 応急処置

大量に吸入した場合

- ・吸入をして気分の悪くなった場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・気分の戻らない時は、医師の診断を受けること。
- ・呼吸していて嘔吐がある場合は頭を横向きにする。
- ・呼吸が弱い場合は人工呼吸や酸素吸入を行う。
- ・吸入の影響が遅れて現れることがある。
- ・上記症状が出た場合、直ちに医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

- ・直ちに水で洗い流し、石鹼で液が付着したところをよく洗うこと。
- ・直ちに、汚染された衣類をすべて取り除くこと。皮膚を流水で洗うこと。
- ・気分が悪くなった場合は、医師の診断を受けること。
- ・汚染した衣類を再使用する場合は洗濯してから使用すること。

目に入った場合

- ・清浄な水で最低15分間目を洗浄する。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。

| | | | |
|---------|------------|-----|------------|
| 整理番号 | イレーサーT 4kg | 作成日 | 2006年5月10日 |
| 3314-04 | 横浜油脂工業株式会社 | 改定日 | 2016年6月9日 |

Ver. 11.08

- ・コンタクトレンズを使用している場合は、固着していないかぎり、取り除いて洗浄を続ける。
- ・洗浄後、医師の診断を受けること。
- ・激しい痛みがある場合は、直ちに医師の診断を受けること。

飲み込んだ場合

- ・直ちに水で口の中を洗浄する。
- ・直ちに医師の診断を受けること。
- ・無理に吐かせないこと。
- ・子供などが飲み込んだ懸念がある場合、直ちに医師の診断を受けること。

最も重要な兆候及び症状

- ・特になし

応急措置をする者の保護

- ・特になし

医師に対する特別注意事項

- ・特になし

5. 火災時の措置

消火剤

- ・この製品自体は、燃焼しない。

特有の消火方法

- ・消火作業は、可能な限り風上から行なう。
- ・関係者以外は安全な場所に退去させる。
- ・周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
- ・火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
- ・周囲の設備などの輻射熱による温度上昇を防止するため、水スプレーにより周辺を冷却する。
- ・消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

消火を行う者の保護

- ・消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用する。
- ・消火活動は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ・屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
- ・漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。
- ・漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する

| | | | |
|---------|------------|-----|------------|
| 整理番号 | イレーサーT 4kg | 作成日 | 2006年5月10日 |
| 3314-04 | 横浜油脂工業株式会社 | 改定日 | 2016年6月9日 |

Ver. 11.08

- ・作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。
- ・風上から作業し、風下の人を退避させる。
- ・着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。
- ・こぼれた場所はすべりやすいために注意する。

環境に対する注意事項

- ・流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

回収、中和

- ・少量の場合は、吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取り、密閉できる空容器に回収する。
- ・大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。
- ・アルカリ性の製品なので、必要があれば酸(希塩酸、希硫酸等)で中和する。
- ・回収後の少量の残留分は土砂またはおがくず等に吸収させる。
- ・付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置する。

二次災害の防止法

- ・漏出時は事故の未然防止および拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・製品記載の使用上の注意を良く読み、用途以外に使用しないこと。
- ・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・アルカリ性なので、酸性の製品との接触を避ける。
- ・粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- ・取扱いは、屋外または換気のよい場所で行う。
- ・取り扱い中は、飲食、喫煙を行ってはならない。
- ・取り扱い後はよく手を洗うこと。

保管

安全な保管条件

- ・製品記載の保管条件を読み、適切に保管すること。
- ・容器を密栓すること。
- ・日光から遮断し、40℃を超える温度に暴露しないこと。
- ・施錠して保管すること。
- ・酸と一緒に保管してはならない。

安全な容器包装材料

- ・特になし

| | | | |
|---------|------------|-----|------------|
| 整理番号 | イレーサーT 4kg | 作成日 | 2006年5月10日 |
| 3314-04 | 横浜油脂工業株式会社 | 改定日 | 2016年6月9日 |

Ver. 11. 08

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

- ・ 蒸気または煙やミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
- ・ 屋内で使用する場合は局所排気装置を設置する。

記載の無いもの、また「-」は、知見なし、あるいはデータなし

| 成分名／化学名 | 管理濃度 | 許容濃度 |
|-------------|---------|---|
| アピエチン酸ナトリウム | - | - |
| エタノール | 1000ppm | ACGIH (1996) TWA 1,000ppm (1,880mg/cm ³) |
| n-プロピルアルコール | - | 日本産業衛生学会 (2005年版) 未設定、ACGIH (2005年版) TLV-TWA 200ppm (skin) TLV-STEL400ppm (skin) |
| イソプロピルアルコール | 200ppm | 最大許容濃度 400ppm 980mg/m ³ 日本産業衛生学会 (2005年版) TLV-TWA 200ppm A4 ACGIH (2005年版) |

保護具

呼吸器の保護具

- ・ 保護マスクを着用する。必要に応じて防塵マスク、防毒マスク、有機溶剤用の防毒マスク等を着用する。

手の保護具

- ・ 保護手袋、必要に応じて耐溶剤性手袋、ビニール手袋等を着用する。

目の保護具

- ・ 保護眼鏡(普通眼鏡型)、必要に応じて、ゴーグル型、保護面等を着用する。

皮膚及び身体の保護具

- ・ 保護衣、保護前掛け等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

| | |
|---------------|--------------|
| 外観 | : 無色～淡黄色透明液体 |
| 臭い | : 原料臭 |
| 臭いのしきい値 | : データなし |
| pH | : 9.3 |
| 融点/凝固点 | : データなし |
| 沸点、初留点と沸騰範囲 | : データなし |
| 引火点 | : なし |
| 自然発火温度(発火点) | : データなし |
| 燃焼性(固体、気体) | : データなし |
| 燃焼又は爆発範囲下限、上限 | : データなし |
| 蒸気圧 | : データなし |
| 蒸気密度 | : データなし |
| 蒸発速度 | : データなし |

| | | | |
|---------|------------|-----|------------|
| 整理番号 | イレーサーT 4kg | 作成日 | 2006年5月10日 |
| 3314-04 | 横浜油脂工業株式会社 | 改定日 | 2016年6月9日 |

Ver. 11.08

| | |
|--------------|---------|
| 比重 | : 1.00 |
| 溶解性 | : 水に溶解 |
| オクタノール/水分配係数 | : データなし |
| 分解温度 | : データなし |
| 粘度 (粘性率) | : データなし |
| その他のデータ | : データなし |

10. 安定性及び反応性

反応性

化学的安定性

- ・ 通常の取扱いにおいては安定である。

危険有害反応性の可能性

- ・ 特になし

避けるべき条件

- ・ 特になし

混触危険性物質

- ・ 特になし

危険有害な分解生成物

- ・ 特になし

その他

- ・ 特になし

11. 有害性情報

個々の成分の有害性情報：記載の無いものは、GHS分類でカットオフ値以下であるもの、知見なし、あるいはデータなしの成分

・ アビエチン酸ナトリウム

《急性毒性》

経口：腹腔内接種 LD50 3383mg/kg

《皮膚腐食性/刺激性》

情報なし

《眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性》

情報なし

《呼吸器感作性又は皮膚感作性》

呼吸器感作性：情報なし

皮膚感作性情報なし

《発がん性》

情報なし

《生殖細胞変異原性》

情報なし

《生殖毒性》

情報なし

| | | | |
|---------|------------|-----|------------|
| 整理番号 | イレーサーT 4kg | 作成日 | 2006年5月10日 |
| 3314-04 | 横浜油脂工業株式会社 | 改定日 | 2016年6月9日 |

Ver. 11. 08

《特定標的臓器毒性(単回暴露)》

情報なし

《特定標的臓器毒性(反復暴露)》

情報なし

《吸引性呼吸器有害性》

情報なし

・ 変性アルコール

《急性毒性》

経口:【エタノール】

経口ヒト: LDL0 1,400mg/kg 行動、胃腸(吐気)

経口ラット: LD50 7,060mg/kg 呼吸器系

経口ヒト(男): TDL0 700mg/kg 行動(精神生理学上)

【n-プロピルアルコール】

ラットLD50 値: 1900mg/kg、1870mg/kg、5400mg/kg

6500mg/kg に基づき、計算を適用した。計算値は2695mg/kg

ウサギLD50 値: 6700mg/kg、4060mg/kg、4000mg/kg及び4050mg/kg に基づき、計算を適用した。計算値は4031mg/kg

20000ppmの1時間ばく露(4時間換算値: 24.531mg/L)でラットに死亡が認められな

かったとの記述、4000ppm(9.84mg/L)の4時間ばく露でラット6例中2例が死亡し

たとの記述があるが、LC50 値は示されていない。

【イソプロピルアルコール】

経口ラット LD50 5280mg/kg

経口ラット LD50 5500mg/kg

経口ラット LD50 5480mg/kg

経口ラット LD50 4710mg/kg

経口ラット LD50 1870mg/kg

上記データにより統計計算し、3437mg/kg

経皮:【イソプロピルアルコール】

経皮ウサギ LD50 12870mg/kg

経皮ウサギ LD50 4059mg/kg

吸入(ガス):【エタノール】

吸入ラット: LC50 20,000ppm/10h 毒性未評価

吸入(蒸気)【イソプロピルアルコール】

吸入(蒸気)ラット LC50 72600mg/m³(29512ppm)/4H

吸入(蒸気)ラット LC50 72865mg/m³(29620ppm)/4H

《皮膚腐食性/刺激性》

【エタノール】

皮膚ラビット: 400mg 開放 症状(軽度)

皮膚ラビット: 500mg/24h 症状(重度)

【n-プロピルアルコール】

ウサギの皮膚を極めて軽度に刺激したとの記述から、区分3の可能性がある

が、ヒトの皮膚に適用した試験において12例中9例でerythemaが認められた。

【イソプロピルアルコール】

ウサギ皮膚刺激性試験では、刺激性なし又は軽度の刺激性の報告があるが、ヒトでのボランティア及び

アルコール中毒患者の治療のため皮膚適用した試験では刺激性を示さない

《眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性》

【エタノール】

OECD TG405及びDraize test に従った試験により「moderate」と分類されている。

ヒトで角膜上皮の傷害、結膜充血は1、2日間で回復する。

ラビット: 100mg/24h 症状(中度)

【n-プロピルアルコール】

ウサギの眼に適用した試験において重度の結膜炎、虹彩炎、角膜混濁及び潰瘍形成が認められた

【イソプロピルアルコール】

ウサギでの眼刺激性試験では、軽度から重度の刺激性の報告があるとの記述があ

るが、重篤な損傷性は記載されていない。

| | | | |
|---------|------------|-----|------------|
| 整理番号 | イレーサーT 4kg | 作成日 | 2006年5月10日 |
| 3314-04 | 横浜油脂工業株式会社 | 改定日 | 2016年6月9日 |

Ver. 11. 08

《呼吸器感作性又は皮膚感作性》

呼吸器感作性:情報なし

皮膚感作性【エタノール】

動物試験で有意の皮膚感作性は見られない。

【n-プロピルアルコール】

パッチテストでアレルギー性反応が認められた1症例の記述があるが、他にデータはない。

【イソプロピルアルコール】

モルモットでのビューラー法による皮膚感作性試験では陰性であった。皮膚炎発症例で2-propanolのパッチテスト陽性例には、低分子の1級又は2級アルコール、プロピレンオキシドにも陽性を示しており、2-プロパノールが原因物質か否か明確でない

《発がん性》

【エタノール】

IARCでは「アルコール性飲料としてヒトに発がん性がある」としてグループ1に分類しているが、これはアルコール性飲料を習慣的に摂取するヒトの多数の疫学調査に基づき、アルコール性飲料と食道系及び肝臓のがんの因果関係を認めたものである(8)。他方、ACGIHは、主として作業環境での有害性因子としてエタノールをA4(ヒト発がん性に分類できない物質)に分類している。

経口 マウス : TDL0 320mg/kg/50週 毒性未評価

【n-プロピルアルコール】

ACGIHでA3に分類されている

【イソプロピルアルコール】

グループ3、A4に分類されている。

IARC グループ3(ヒトに対する発がん性については分類できない)

《生殖細胞変異原性》

【エタノール】

ラット及びマウスにおける優勢致死の報告及びマウス生殖細胞における異数性誘発報告がある。

【n-プロピルアルコール】

in vitro 試験のデータしかない

【イソプロピルアルコール】

in vivo でのマウス骨髄細胞を用いた小核試験で陰性である

《生殖毒性》

【エタノール】

アルコールの習慣的な大量摂取によりヒト胎児に対する奇形その他の悪影響が多数報告されている。

吸入 ラット : TGL0 20,000ppm/7h, 妊娠, 1~22日 発育異常1)

経口 ラット : TDL0 44g/kg, 妊娠, 7~17日 発育異常

【n-プロピルアルコール】

妊娠中のラットに吸入ばく露した試験において母動物に一般毒性が認められる用量で奇形の増加が認められたとの記述、ならびに雌雄ラットを用いた吸入ばく露試験において一般毒性が認められる用量で雄の生殖能低下及び子の奇形(crooked tail)増加が認められた

【イソプロピルアルコール】

ラットでの飲水投与による2世代繁殖試験では、繁殖能及び出生子の発育に影響なかった。一方、ラットでの発育毒性・催奇形性試験では、催奇形性はなかったが、親動物に体重増加の低下、麻酔作用等の毒性を示した用量で、妊娠率の低下、吸収胚の増加、胎児死亡の増加等の生殖毒性が認められた

《特定標的臓器毒性(単回暴露)》

【エタノール】

ヒトでエタノールの経口摂取により中枢神経系に影響を与え、頭痛、疲労、集中力を低下させ、急性中毒の場合は死に至ることがある。

ヒトで5,000ppm(9.4mg/L)の吸入により気道刺激性、昏迷、病的睡眠を起こす。

【イソプロピルアルコール】

ラットでの吸入ばく露による活動性の低下があるとの記述、及びヒトでの経口摂取による急性中毒では消火管への刺激性、血圧、体温等の低下、中枢神経症状、腎障害が認められており、標的臓器は中枢神経系、腎臓及び全身毒性とした。

ヒトで鼻、喉への刺激性が認められており、気道刺激性がある

| | | | |
|---------|------------|-----|------------|
| 整理番号 | イレーサーT 4kg | 作成日 | 2006年5月10日 |
| 3314-04 | 横浜油脂工業株式会社 | 改定日 | 2016年6月9日 |

Ver. 11.08

《特定標的臓器毒性(反復暴露)》

【エタノール】

ヒトでアルコールの長期大量摂取によりほとんど全ての器官に障害を起こすが、最も悪影響を与える標的臓器は肝臓である。障害は脂肪変性に始まり、壊死と繊維化を経て肝硬変に至る。

アルコール中毒患者の禁断症状(振戦症状、てんかん、精神錯乱)

【n-プロピルアルコール】

ラット、マウス又はウサギを用いた吸入ばく露又は経口投与試験において麻酔作用が認められたとの記述、ならびにマウスを用いた吸入ばく露試験において気道刺激性を示唆する呼吸数の減少が認められた

【イソプロピルアルコール】

ラットでの86日間又は4ヵ月間吸入ばく露試験で、血管、肝臓、脾臓に影響が認められたとの記述から、標的臓器は血管、肝臓、脾臓であるとした。

ヒトに関する情報はないが、ラットでの気管内投与により、24時間以内に心肺停止による死亡が認められており、かつ、動粘性率は概略1.6前後であることから、吸引性呼吸器有害性があるとした。

《吸引性呼吸器有害性》

データなし

・ キレート剤

《急性毒性》

経口:LD50(ラット) 1080mg/kg

LD50(ウサギ) 2300mg/kg

LD50 2300 mg/kg(ウサギ※経口)(RTECS)

LD50 2050 mg/kg(マウス※経口)(RTECS)

その他急性毒性(RTECS)

LD50 260mg/kg(マウス※腹腔内)

LD50 56 mg/kg(マウス※静脈内)

LD50 47 mg/kg(ウサギ※静脈内)

《皮膚腐食性/刺激性》

粘膜に対し弱い刺激性あり

《有害性その他》

慢性毒性50mg/kg(ウチキ)以下なら安全

1 2. 環境影響情報

個々の成分の有害性情報：記載の無いものは、GHS分類でカットオフ値以下であるもの、知見なし、あるいはデータなしの成分

・ アビエチン酸ナトリウム

《水生環境有害性》(急性)

情報なし

《水性環境有害性》(慢性)

情報なし

・ キレート剤

《水生環境有害性(急性)》

データなし。

《水生環境有害性(慢性)》

分解性

難分解性

BOD(5):9000mg/L

オゾン層への有害性： データなし

1 3. 廃棄上の注意

- ・ 内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

1 4. 輸送上の注意

| | | | |
|---------|------------|-----|------------|
| 整理番号 | イレーサーT 4kg | 作成日 | 2006年5月10日 |
| 3314-04 | 横浜油脂工業株式会社 | 改定日 | 2016年6月9日 |

Ver. 11.08

国際規制：

国連分類

該当しない

国連番号

該当しない

容器等級 : 該当しない

海洋汚染物質 : 非該当

国内規制：

容器イエローラベル

該当しない

輸送の特定の安全対策及び条件

- ・ 容器の破損、漏れがないことをたしかめる。
- ・ 荷くずれ防止を確実にを行う。
- ・ 該当法令に従い、包装、表示、輸送を行う。
- ・ 直射日光を避ける。
- ・ 水漏れ厳禁。
- ・ 横積み厳禁。
- ・ 夏場の輸送時においては、熱い鉄板、地面等の上に直接置かないこと。
- ・ 輸送容器は衝撃を与えないように、ていねいに取扱う。転倒したり、激突させたりしない。

15. 適用法令

火薬類取締法：

対象外

高圧ガス保安法：

対象外

消防法： () 内は、指定数量

非危険物(消防法上の非危険物)

不燃物である

毒物及び劇物取締法(毒劇物取締法)：

非該当(該当物質は含有しない、詳細は 3. 組成、成分情報を参照)

労働安全衛生法：

表示対象物質を含有する。(詳細は 3. 組成、成分情報を参照)

通知対象物質を含有する。(詳細は 3. 組成、成分情報を参照)

労働安全衛生法(有機溶剤中毒予防規則)：

非該当 該当成分は含有するが、5%以下のため非該当(詳細 3. 組成、成分情報を参照)

労働安全衛生法(危険物)：

非該当

特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法 (PRTR法)：

非該当 該当物質は含有しない。(詳細は 3. 組成、成分情報を参照)

| | | | |
|---------|------------|-----|------------|
| 整理番号 | イレーサーT 4kg | 作成日 | 2006年5月10日 |
| 3314-04 | 横浜油脂工業株式会社 | 改定日 | 2016年6月9日 |

Ver. 11.08

16. その他の情報（参考文献等）

GHSに基づく化学物質等の分類方法 JIS Z7252:2009

GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)
JIS Z7253:2012

GHS分類結果データベース（独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ）

中央労働災害防止協会安全衛生情報センターホームページ

JACA（日本オートケミカル工業会）編集：化学物質管理データベース

オートケミカル製品のための製品安全データシート作成指針改訂版（日本オートケミカル工業会）

危険物船舶運送及び貯蔵規則（海文堂）

※注意

安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者提供されるものです。取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取り扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。